

ARCADIA

OKAZAKI CITY MUSEUM NEWS



眼の極楽 36

花と鳥のかたち

特任館長 榊原悟



図3



図2



図1

捕食の連鎖

では信春は、どうだろうか。

実は信春は、京博三幅对本以外にも、虫にこだわった印象深い作を遺してくれていた。rの『海棠に雀図』（図1）である。親雀が海棠の枝に留まり、啄んだ虻（縞模様の可愛らしい表情から（ただし子雀は都合四羽。もう一羽、手前の小枝に羽のついたものも、お見逃しなく）、親子のほほえましい情景を描いたと解説するのが一般的だが、これを逆に啄まれた虻から見れば、喰うか喰われるか、酷しい自然の営みを描いたとも云えようか。啄まれた虻は、言わば京博三幅对本の尉鷄に狙われた虻（図2）の後日譚の後の姿である。尉鷄と親雀の似通うかたちが、そう思わせるに足る（同じ姿態の尉鷄が、近年、信春の作の可能性が高いとされた『花鳥図屏風』にも登場するところから、このかたちは信春好みとも言えるかも知れない。山本英男作品解説「没後400年長谷川等伯」展図録 東京国立博物館 二〇一〇年）。これまた常州草虫画の世界である。そこに四羽の子雀を描き加えることで、家族の心温まる情景に変えた。信春の趣向である。

そう云えば等伯は、この後、雛三羽を抱く巢籠りの母鳥と、それを見守る父鳥や、子猿を肩に載せた親猿を描くなど（出光美術館本『鳥鷲図屏風』、龍泉庵本『枯木猿猴図』）、動物の親子を取上げた作品を少なからず制作する。幼少期、養子に出された原体験を持ち、また長じては「道淳」と「浄松」（本法寺本『涅槃図』紙背銘「道淳」は長男久蔵の、「浄松」はその弟の、それぞれ法名）、二人の逆縁の息子があつた等伯である。肉身を思い、子を思うところは一入であつたに違いない。その篤い気持ちを描かれた動物たちの親子のほのぼのとした姿に託す。啄んだ虻を子雀に与える親雀は、等伯（信春）その人でもあつただろうか。

ちなみに信春は、天正七年（一五七九）六月に亡くなった先妻妙浄（俗名不明）との間に、いま上げた久蔵（道淳）と浄松（俗名不明）、宗宅等後（一六一一）の三人の息子に加え、さらに女（複数名とも）があつたようだ。四羽の子雀を彼らの誰かに見立てれば、この情景も、いっそう痛切となる。

それにしても信春と常州草虫画との係わりは深い。自然の営みの相のもとに虫や小動物を描く―それを理解し、その姿で取上げたのは、信春を描いてないのではないか。むろん信春は、他にもそうした作品を遺していた。しかもこの場合は、影響を与えた作品さえ特定できるかもしれない。

では、そんな興味深い信春の作品とは…、「梅に鼯・雀図」である。原本は現在所在不明だが、幸いにも良質の模本が二点伝わる（いずれも東京国立博物館蔵 図3）。一見してrの『海棠に雀図』を想起させるところと云い、宋・元院体花鳥画やその流れを汲む室町水墨画を学んだ作であることは明らかで、ことに屈曲鋭い梅樹の枝振りや、腹部を見せ、枝に逆さまで留まる雀のかたちなどは、小栗宗繼（宗湛の子、生没年未詳）の作ともみなされる。「遮莫」印を捺した『梅樹小禽図』（京都国立博物館蔵 図4）から図像情報を得た可能性が、既に指摘されている（山本英男作品解説「没後400年長谷川等伯」展図録）。

その通りではある。確かに左右を反転させているものの、梅樹の枝振りや、その枝に逆さまで留まる雀のかたちの一致は、そう思わせるに足る。信春は、遮莫本を見る機会さえあつたのではないか、そんな気さえする程だが、果たしてそれでよいのだら

うか。逆さになった雀が見つめるその先には…、遮莫本が取っ組み合いの喧嘩をしているのに対し、信春本では鶺鴒が雀を喰わえている。その一羽が烈しく断末魔の悲鳴を上げる。樹上の一羽の相方だ。今まさに襲われたのだ。

即座に思い出されるのは、そう、あのページニア本の衝撃の一図だ(図5)。同じく番いの一羽が鶺鴒に銜えられていたはずだ。逆さまではないが、それを見た相方が枝上で騒ぐのも変わらない。まさしく弱肉強食の世界を描いた、同巧の作である。両図が密接な関係にあることは、容易に推定できるだろう。信春にはページニア本を目にする機会があったのだろうか。

そのことを考えるために、まずは押さえておくべきは制作年代である。『梅に鶺鴒・雀図』には、どうやら「信春」の朱文矩形印が捺されていたようで(模本は、その陰影まで丁寧に写している)、同一印が捺された信春の肖像画の傑作『日乗上人像』(妙成寺蔵)の制作年代とも絡み、従来より同印の使用を、あの「信春」の朱文袋印の前のものか、後にするのか問題とし、なお決着をみていない。が、もし前者の、すなわち袋印に先んずるとなると、能登は七尾時代にまで遡る可能性も出てくることとなり、主に絵仏師として活動していた、その時代の信春に「雀を襲う鶺鴒」を描くことができたとは、到底、考えられず、その点からも後者すなわち後と見る方が、余程、据わりがよいのではないかと云うより、そもそもこの矩形印が「梅に鶺鴒・雀図」に捺されている事実自体が、当該印の使用を袋印の後と見ることの証左足り得る、とさえ言えるだろう。「雀を襲う鶺鴒」の図像を、能登の絵仏師が知る由もないからである。となれば「梅に鶺鴒・雀図」の制作は上洛後しばらく経たころ、その図像情報も自らの京洛での活動の中で得たに違いない。

もとより絵師としての始業期のことである。その時期、信春は曾我紹祥の門に学んだのではなかったか。江戸時代初期の画史画伝書『丹青若木集』が伝えるが、さらにそれを証左するものとして信春には、曾我墨谿のそれを直模したことが疑いない『達磨図』(龍門寺蔵)や、曾我宗誉の作品から図像情報を得たとみられる作品も遺る(眼の極楽²⁸、花と鳥のかたち)。両作とも、いま矩形の「信春」印に先行するとみた袋印が捺され、制作時期は異なるものの、こうした作がある以上、この特異なモチーフを扱った「梅に鶺鴒・雀図」にも、それが特異であればこそ、典拠となった図像情報があったとみるべきで、それを曾我派内に求めるのは、むしろ自然であるに違いない。

むろん、やみくもにそう思っているわけではない。曾我派の「鶺鴒」が確かに存在したふしがあるからだ。時代は下るが、寛政五年(一七九三)三月二十三日、十一代将軍家斉(一七七三〜一八四二)が尾張徳川家の江戸下屋敷戸山荘を御通拔(御成)した(小寺武久著『尾張藩江戸下屋敷の謎 虚構の街をもつ大名庭園』(中公新書九五三 中央公論社一九八九年)。庭園内の諸殿舎、茶室には、それぞれ見事な床飾りがほどこされた。所蔵する優品が集められたことは想像するに難くない。幸いにもその時用いられた諸道具の記録『戸山御屋敷飾付帳』(名古屋市鶴舞図書館蔵)「徳川將軍の御成」展図録に翻刻徳川美術館 二〇一二年)が遺されている。その隠里(招隠里) 御茶屋の項に、

隠里御茶屋

(中略)
御床御掛物 一幅
雀鶺鴒 曾我蛇足筆

とある。「鶺鴒の絵」が掛けられたようだ。しかもその絵を呼ぶのに、ことさら云ったわけでもないだろうが、「雀」の語と並記しており、両者の関係性が描かれていたのだろう。

天敵の鶺鴒を雀が樹上から眺める—そんな図柄を想像するのも嬉しいが、果たしてどうだろうか。

ところどころに、御通拔当日、この「雀鶺鴒」を実際にした人物二人が、絵について簡略に記してくれていた。

① 右ハ黒木茶屋といふ、こなたの茶屋にせんなど敷、床に曾我蛇足の書しいたちの雀とりたる絵かけて

佐野義行著『戸山の春』(『東京市史稿』遊園編才二所収 一九二九年)
② 黒木の茶屋のかけ物ハ雀鶺鴒の画、是ハ名におふ曾我蛇足の筆也

三上季寛著『和山御成記』(『東京市史稿』遊園編才二所収 一九二九年) いずれも家斉に扈從した旗本の記録である(当時、佐野は御小姓、三上は御先手頭を務めていた)。それによれば「雀鶺鴒」は、やはり雀を襲う鶺鴒の画であったようだ①。

そんな生々しい光景を描いた絵が、將軍さまを迎える御茶屋の床を飾る掛物としてふさわしいか否か、疑問が出るのは当然。それを封じて掛けたのは、それだけの力が働いたのだろうか、その点については改めて後に触れたい(未完)。



図 1



図 2

図版ネーム
図 1 『海菜に雀図』 長谷川信春筆

図 2 蛇を狙う常鶴(京博三幅対本左幅部分) 長谷川信春筆

図 3 「梅に鶺鴒・雀図」模本 図 4 「梅樹小禽図」「遮莫」印

図 5 「鶺鴒に雀図」ページニア本『花鳥草虫図押絵貼屏風』より

開館25周年記念 企画展 水木しげる 魂の漫画展

会期…令和3年7月31日(土)～9月26日(日)

今泉 岳大

水木しげる、本名・武良茂（むらしげ）は、一九二二年に生まれ、二〇一五年十一月に惜しまれながら亡くなるまで、その九三年間の生涯を現役で在り続けました。四〇歳を過ぎた遅咲きのメジャーデビューを果たすまでの極貧生活時代から超人気作家になってからも、水木しげるは片腕で独自の画風を模索し続けながら、かつて失われた命への慰めと、この世に生きる人々へのメッセージともいえる作品を全身全霊で描きました。本展覧会は漫画家・水木しげるの多才な画業に迫り、その作品の尽きない魅力を改めて探求しようとするものです。本稿では本展覧会の見どころをご紹介します。



「ゲゲゲの鬼太郎」1985年

武良茂アートギャラリー

少年天才画家あらわる！！

水木しげるは大阪府に武良家の三兄弟の次男として生まれました。生後ま

なく父の故郷である鳥取県の境港に母と帰郷した茂は、武良家に入り出ていた家政婦ののんばあに連れられて見た『地獄極楽絵図』に心を奪われ、以来、のんのんばあは「妖怪英才教育」によって森羅万象に宿る魂を見抜く視点・鋭い感受性を磨かれます。茂は幼少期から絵を描くことが好きで、その画力は新聞で「天才少年あらわる!!」ともてはやされるほどでした。そんな少年時代から非凡だった武良茂の絵画作品の数々を紹介します。



「自画像」1951年

水木しげるの漫画研究

片腕で生み出す独自の画法

画家志望の青年茂は、戦後紙芝居作家となったことから「水木しげる」の活動をスタートさせました。最終的には漫画家に落ち着く水木ですが、その創作姿勢は対象物の研究や綿密なデッサンとスケッチを行う画家そのものでした。本章では水木漫画ができるまでの舞台裏公開！手帳、スクラップブック、人物スケッチ、筆と絵の具をご覧ください。

水木しげるの人気三大漫画

鬼太郎／悪魔くん／河童の三平

水木の代表作であるこの三作品に共通するのは、いずれも少年が主人公で、なんらかの宿業を背負い、人間社会と異界を自由に往来して活躍する話です。そこには、水木が少年時代にのんのんばあに誘われた異界の経験と、生まれ育った鳥取県境港の風土が活かされているといえます。主人公たちのキャラクターには、手塚治虫のような少年漫画らしい丸味のある描線を取り入れつつ、水木はそれを西洋絵画から学んだ写実性・ドラマ性あふれる背景・効果を自然と共存させました。代表作である三作品の誕生秘話と、時代と共に歩む作品の人気に迫ります。



「悪魔くん」1985年

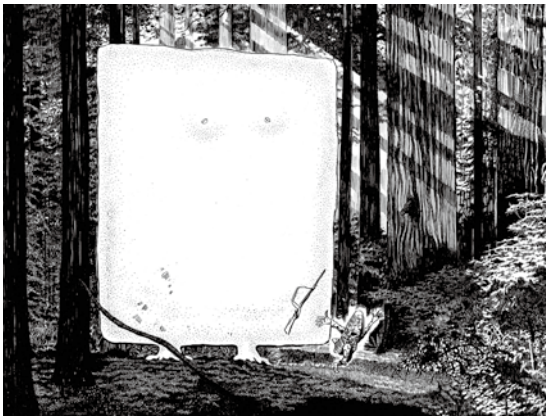


「目玉おやじ」

総員玉碎せよ！ 壮絶な戦争体験記！
一九四一年、二一歳だった水木に赤紙が届きます。出征する前から現実を予見し葛藤していた水木は、実際に従軍し「この世の地獄」を見ます。それはつまり「死より、なおつらい生のある、現実」の体験でした。「いつそ死んでしまえばどんなに楽か」そう考え、実際に死んでいった戦友も多くいた中で、水木は「苦しくとも生きたい」と強く思ったといえます。この経験を深く刻み込んだ作品「総員玉碎せよ！」には水木が至った「死生観」の境地があります。ここでは、自らの悲惨な戦争体験を描いた作品原稿、ラバウルでのスケッチ、太平洋艦隊のプラモデル他を展示します。

戦争と岡崎―収蔵戦時資料―

また本展では、当館の所蔵する戦時資料を特別出品します。このコーナーでは当館が岡崎市民の皆様から受け保管して



「塗壁（ぬりかべ）」

いる戦争を伝える資料より、陸軍や海軍の軍服などの軍装品、徴兵検査をはじめとする戦争を語る品々や記録、写真などを紹介します。

妖怪世界へようこそ

水木しげるが画家であることを「ゲゲゲの鬼太郎」ファンの子どもたちに知らしめたのは「妖怪画」でした。当時の子どもたちは、この絵で「鬼太郎」に登場する以外にも無数の妖怪が世界中にいることを知り、ワクワクしながら妖怪を学びました。「妖怪画」のルーツは江戸時代の妖怪画家・鳥山石燕にあり、それは江戸時代の絵草子であり、民話・説話のビジュアル化であった。さまざまな手法で描かれたそれらは「水木流」のオリジナル作品へと昇華。後世に連綿と伝えられるであろう妖怪たちは、こうして完成しました。本章では水木が創り出した妖怪画やブロンズ像、フィギュアなどを展示します。

EVENT INFORMATION

関連イベント情報

トークイベント 要事前申込

「コロナから改めて考える目に見えないものの存在」

令和3年9月4日(土)午後2時～3時30分

- 講師 | 飯倉義之氏(國學院大學准教授) 島田尚幸氏(あいち妖怪保存会共同代表)
- 聞き手 | 今泉岳大(当館学芸員)
- 定員 | 30名(1度の申込みは2名まで。事前申込制。申込者以外の参加不可。応募多数の場合は抽選)
- 場所 | 当館1階セミナールーム
- 参加費 | 無料
- 申込方法 | 当館HP からあいち電子申請にてネット申込み
- 申込期間 | 令和3年8月18日(水)まで



ギャラリー・トーク

令和3年8月15日(日)、9月18日(土) 各日とも午後2時～

- 場所 | 当館1階展示室(当日の観覧券が必要です)
- 担当 | 当館学芸員

おかざき妖怪発掘プロジェクト

「今よみがえる！おかざき妖怪の森—化け猫からオカザえもんまで」

「水木しげる 魂の漫画展」の開催に合わせ、岡崎市にまつわる妖怪をはじめとする怪異を調査し、紹介するプロジェクトを同時開催します。

長い歴史を持つ岡崎の地には、化け猫だけでなく市内各地に妖怪のような不思議な生き物、不思議な出来事や伝承や説話が語り継がれています。また現代において、皆様の身の回りにも妖怪の存在を感じずにはいられないことがあるかもしれません。このプロジェクトは、そんな伝承や説話を掘り起こし、妖怪や怪異とともに現代に蘇らせようという試みです。

1. 特別展示「今よみがえる！おかざき妖怪の森—化け猫からオカザえもんまで」

内容 | 岡崎の妖怪にまつわる伝承や説話を取り上げ、美術家・松岡徹によるビジュアル化した妖怪画とともに紹介します。また、オカザえもんによるオカザえもんの妖怪画や岡崎アマビエの原画をコーナー展示します。

場所 | 岡崎市美術博物館1階ギャラリー
参加費 | 無料

2. ワークショップ〈クイズラリー「恩賜池を探索して妖怪を探そう」〉

内容 | 美術博物館のそと、恩賜池周辺を探索してそこに隠れた妖怪を探してみよう。全部見つけた人は受付で答え合わせをして景品をゲットしよう。

場所 | 岡崎中央総合公園恩賜池周辺
参加方法 | 館内受付にて参加用紙を配布
受付時間 | 午前10時～午後4時
参加費 | 無料



松岡 徹「岡崎妖怪絵図」

ただいま、準備中

開館25周年記念特別企画展

至宝 ― 燦めく岡崎の文化財

会期：令和3年10月9日(土)～12月19日(日)

開館二五周年の記念に、博物館展示の集大成として開催する本展。真面目な紹介はこれから何度でもできると思うので、ここではこの展覧会準備中の小話でも書きましようか。

① 展覧会名

「至宝」というタイトルに落ち着く前は、「岡崎の文化財すごいぜ！」という、某有名俳優がカマキリに扮して昆虫を紹介する番組をもじったものでした。内容もふざけ：ポップにする想定でしたが、今回は王道の展示で行こうということで「至宝」にしました。「すごいぜ！」の展示はいつかやるつもりです。

② 展示構成1

本展は、原始・古代から家康が江戸に行くまでの市内文化財の「至宝」を集めた展示です。当初予定は江戸時代までを一室に会す予定でしたが、リストを作っていくうちに気付いたのです。とても入りきれない…。

ということで時代を戦国までにしました。これで行けるだろうとリストを整えていくと

驚きの事実が。これでも入らないぞ…。そんなこんなで前後期で展示資料を総入れ替えするという恐怖の状況が生まれました。この見直し作業とおして、改めて「岡崎の文化財すごいぜ！」と思わされた次第であります。

③ 展示構成2

本展はこのページ下部の構成で企画中です。市内文化財の紹介が主となる展示ですが、それとおして岡崎・三河の歴史が通覧できるようになっています。市内の文化財だけである程度の通史が追える。これも「岡崎の文化財すごいぜ！」と感ずるところです。もちろん資料のないところ薄いところもありますが、それも岡崎の歴史を物語る所とご理解いただけたら幸いです。

④ 展示内容

本展は、四半世紀にわたる当館の活動と最新の研究成果をふまえ、原始・古代から中世までの岡崎の歴史と文化財を紹介する展示です。当館が開館した平成八年といえ、『新編

岡崎市史』刊行が一段落ついた直後でした。この市史は、今でも岡崎・三河の歴史を知る上でまず参照される名著です。しかし市史刊行後、県史をはじめ近隣自治体史の編さんや研究の進展がありました。また当館の活動の中でも、新たな資料の発見がいくつもありませんでした。本展が、そうした成果を取り入れた「岡崎の歴史と文化財の最前線」の展示となるよう、歴史・考古学担当のスタッフ一丸となって現在鋭意準備を進行中です。

また図録・講演では、全国的な研究をリードするとともに、岡崎の文化財も長年調査いただいていた先生方に、展示をより深く理解できるお話をお願いしています。

あつ、図録：今回は実質二本分の展覧会なので、過去最厚の図録になりそうです。厚いということだけはそれだけ書く内容も多い訳です。残り約二ヶ月、展覧会オーブンに図録が間に合っているかも楽しみにお待ちください。



重要文化財
運慶・満慶《聖観音菩薩立像》鎌倉時代（瀧山寺）

「至宝」展は2部構成。会期中、全点展示替え！

I部 10月9日(土)～11月7日(日)

一章：出土品にみる岡崎のあけぼの

二章：天下分け目の三河・岡崎

II部 11月20日～12月19日

三章：松平氏の時代 松平氏の進展、家康に至る時代

お見逃しなく！



開館25周年記念 渡辺省亭―欧米を魅了した花鳥画―
めぐるめく花鳥画世界とてんやわんや事件簿

酒井 明日香

「東京会場は臨時休館となりました」そんな衝撃の連絡が届いたのは、岡崎会場準備真っただ中の四月下旬のことでした。コロナ禍の緊急事態宣言にともない、本展立ち上げ館にして本丸の東京藝術大学大学美術館が会期半ばで臨時休館、そのまま惜しくも閉幕となりました。当館への巡回がもつと先だったら東京は会期延長できたのかも、という思いを抱えながら、「江戸の仇を岡崎で討つて」の言葉とともに作品は当館へ。実を言えば、交通アクセスが不便な当館でどれだけのお客様にご来館いただけるのか、館内ではあまり期待をしていませんでした。しかし、いざ開幕してみたらスタッフの予想を大幅に上回るお客様で連日にぎわい、むしろ混雑対策に頭を悩ますこととなりました。絶筆《春の野邊》を岡崎会場で初公開、予定になかった入場制限の実施、観覧チケットの増刷、作れども追いつかないリミパスの在庫補充、混雑対策によるイベント内容の見直しなど、優雅に泳ぐ水鳥が水面下でせわしなく動いているように、展示室の瀟洒な花鳥画世界の裏側で、事務室では毎日が事件の連続でした。お祭り騒ぎの三十八日間でしたが、無事に閉幕を迎えることができ、やっと一息つけそうです。

6

NEW FACE



今年の春から岡崎に越して来たので、まだまだ岡崎は初心者です。カフェ巡りが好きなので、これから岡崎の素敵なカフェを開拓するのがとても楽しみです。

田中 裕紀乃
今年度から新しく美術博物館の学芸員として着任いたしました、田中裕紀乃です。どうぞよろしくお願いたします。至らない点等あるかと存じますが日々邁進してまいりますのでどうぞ温かい目で見守って頂きますと幸いです。
大学では西洋美術史を専攻しており、主に一九世紀フランス画家、トゥールーズ・ロートレックの油彩画を中心に研究していました。在学中は留学生の生活をサポートするサークルに所属していました。また、フランス・リヨンで約一年間の交換留学を経験するなど国際交流にも励んできました。趣味は旅行で、今までに一三カ国訪れた事があります。

山下 葵
今年度から新しく歴史担当の学芸員として美術博物館に参りました、山下葵です。よろしくお願いたします。生まれは福岡で、大学は熊本でした。自分が知らない土地に行くのが好きです。愛知県には就職活動で初めて訪れました。大学では、熊本藩をフィールドに、江戸時代の犯罪と刑罰について研究していました。また、地域の博物館で企画展をつくりあげる経験を通して、学芸員になりたいという思いを強くしました。家康生誕の地として有名な歴史の深い街の美術博物館で、日本史担当の学芸員として仕事ができることをとても嬉しく思います。これから多くのことを学びながら、歴史の世界に触れることのできる魅力的な展示を企画していきたいと思っております。



SHOP INFORMATION



汗ばむ季節となりました。そんな時期におすすめのアイテムが「SASAWASHI(ササワシ)」天然の抗菌作用があり、古くから生薬としても用いられてきた「くまざさ」を「和紙」に漉き込んで出来た素材で作られる製品。
和紙だからサラサラ、くまざさだから清潔、天然の原料だから安心。生活の様々なシーンに心地良さをもたらしてくれます。

営業時間 10:00 - 17:00
定休日 月曜日(祝日の場合は営業。翌火曜日が振替定休日となります)
TEL 0564-83-5952
FAX 0564-83-5953
MAIL yagura@b-soup.com
URL <https://www.facebook.com/museumshop.yagura>

YOUR TABLE

岡崎市美術館併設のカフェレストラン『YOUR TABLE』。ガラス張りの店内には太陽の光がいっぱい入り、お酒落で開放的な空間が広がります。ランチ時には景色を愉しみながらお食事をする事ができます。展示毎にシェフ考案のコラボメニューも登場。カフェタイムにはやケーキセットや軽食などを販売中。



営業時間 11:00～21:30
定休日 月曜日(祝日の場合は営業。翌火曜日が振替定休日となります)
LUNCH 11:00 - 14:30 (L.O.14:00)
TEA 14:30 - 17:00 (L.O.16:00)
DINNER 17:30 - 21:30 (L.O.20:30)
TEL 0564-28-0141
URL <https://your-table.owst.jp>

YOUSED TO BE

戦争が終わると元のスタイルに戻りますが、後身の岡崎北高校時代にブレザー姿となりました。最近ではストラックスの導入もされたようです。(Y. Y.)

やがて戦争が始まると、襟のカバーは洗うと縮むスフ製になり、胸の校章も布製となりました。しまいに足元はモンペとなっていました。学徒動員の際は国防色の上下に身を包んだそうです。

た。これは全て洋裁の授業を通じて生徒が自力で縫いあげました。当初は髪型に関する規定もあり、一尺以上のおさげ髪を結うこととされましたが、次第に緩んでいったようです。

岡崎高等女学校では、創立当初は袴姿、大正時代に洋服となりますが、昭和に入った頃に生徒の意見を取り入れてセーラー服が採用されました。スカートは丈が膝下二寸、プリーツの数は一二本と定められており、胸には銅製の校章を掲げました。夏服は白い上着に群青色のネクタイ、冬服は紺色の上着に海老茶色のネクタイを締め、襟には白いカバーを被せるというスタイルでした。

皆さんも一度は袖を通したことがある制服。青春の面影として、世代を超えて胸に残っているものです。今回は数ある制服の中から、かつてこの地に存在した岡崎高等女学校の例を見てみましょう。



岡崎市美術館
(マインドスケープミュージアム)

開館時間

午前10時～午後5時

※最終の入場は閉館時間の30分前まで

休館日

月曜日(祝日に該当する場合は、その翌日以後休日でない日)
年末年始 ※展示替えのため臨時休館する事があります。

<https://www.city.okazaki.lg.jp/museum>

ARCADIA

OKAZAKI CITY
MUSEUM
NEWS

【岡崎市美術館ニュース/アルカディア】 第87号 2021年8月発行
編集・発行 岡崎市美術館(マインドスケープ・ミュージアム)
〒444-0002 愛知県岡崎市高隆寺町字峠1番地 岡崎中央総合公園内
TEL 0564-28-5000(代表)